

悠久のときの流れに包まれた英彦山 ひこさん

～歴史と自然と人とのふれあいを目指して～

福岡県 そえだまち 添田町観光ガイドボランティア



山形県の羽黒山、奈良県の大峰山と並び、日本三大修験道のひとつとして数えられる英彦山の全景。



英彦山花園から見た英彦山スロープカーと花駅。



「ひこさん山伏の里探訪」にて現地案内。参加者全員が山伏の装束を身にまとい、英彦山路を山伏問答などを聞きながら散策する。

事例の概要

- 英彦山神宮参道沿いに残る史跡や自然、動植物などを紹介するガイドボランティアとしての活動を行うとともに、参道筋の清掃や福岡県指定有形民俗文化財「財蔵坊」（添田町歴史民俗資料館）の環境整備を始め、新たな観光資源の発掘のための山中研修などの活動も行っている
- 平成17年度には、町が設置したスロープカーの中間駅（花駅）に小学校の廃校を利用した観光案内所が設けられたことから、観光客は予約なしでも観光ガイドを受け

られるようになり、より多くの観光客に英彦山の魅力を伝えられるようになった。

- 平成13年から都市との交流による観光促進のため、「ひこさん山伏の里探訪」を年1回開催している。参加者全員が山伏の装束である白い法被、頭巾を身にまとい、修験道にまつわる山伏問答を聞きながら英彦山路を散策する取り組みで、毎回40名から70名が参加している。

評価のポイント

添田町観光ガイドボランティアは、山形県の羽黒山、奈良県の大峰山と並び日本三大修験道である英彦山（標高1,200m）に町外から数多く訪れる観光客のニーズに応えるため、主に英彦山神宮参道沿いに残る史跡や自然、動植物などを紹介している。当該団体は、観光ガイドボランティアとしての活動を行うとともに、参道筋の清掃や福岡県指定有形民俗文化財「財蔵坊」（添田町歴史民俗資料館）の環境整備を始め、新たな観光資源の発掘のための山中研修など、添田町の観光PRの先駆者としての活動も行っている。

平成17年度には、町が設置したスロープカーの中間駅（花駅）に、小学校の廃校を利用した観光案内所が設けられたことから、観光客は予約無しでも観光ガイドを受けられるようになり、より多くの観光

客に英彦山の魅力を伝えられることとなった。

このほか、平成13年から都市との交流による観光促進のため、「ひこさん山伏の里探訪」を年1回開催しており、参加者全員が山伏の装束である白い法被、頭巾を身にまとい、観光ボランティアによる修験道にまつわる話や山伏問答を聞きながら、英彦山路を散策する取り組みも行っている。

これらの活動に加え、近隣市町村の小中学校や子ども会などの自然体験学習でのガイドや地元中学校での講演などを行い、子どもたちに英彦山の素晴らしさ、魅力を伝える取り組みを行っている。

このように本事例は、修験道の拠点として著名な英彦山の中でのガイドを行うとともに、自然を大切にし、後世に地域の歴史・文化を語り伝える取り組みを行っている。このような点が評価された。

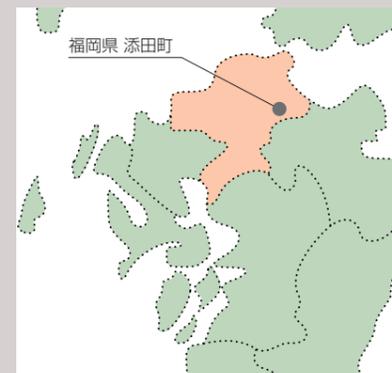


冬には雪山をガイドすることもある。



友好交流都市である韓国江華郡の中学生への登山ガイドの様子。

福岡県 添田町 (そえだまち)



国勢調査人口

(単位：人)

昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
25,170	16,810	14,632	13,763	12,750	11,810

人口増減率

(単位：%) 高齢者・若年者比率(17年)

H17/S35	H17/S45	H7/H2	H12/H7	H17/H12	高齢者比率	若年者比率
△53.1	△29.7	△5.9	△7.4	△7.4	32.3%	11.6%

交通のご案内

- 自動車 九州自動車道 小倉南ICから40分
- 鉄道 JR日彦山線 添田駅から徒歩5分
- 飛行機 福岡空港から自動車で80分

団体連絡先

添田町観光ガイドボランティア
〒824-0691
福岡県田川郡添田町大字添田
2151番地(添田町役場 商工観光係)
TEL. 0947-82-1236
<http://www.town.soeda.fukuoka.jp/>